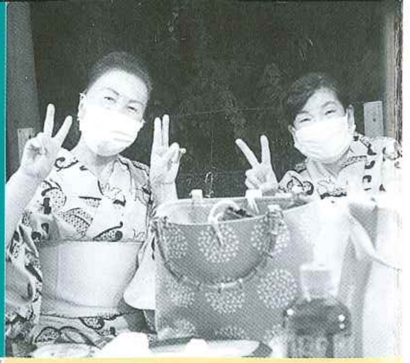


Green Days

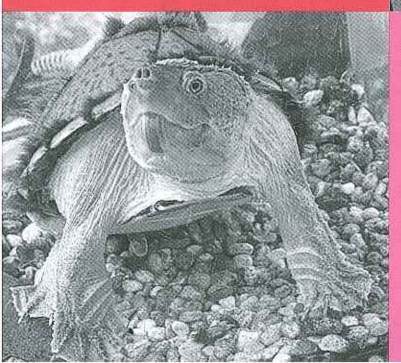
Sep.2022
Vol.115

社会福祉法人一誠会 広報誌『グリーン・デイズ』

特集

生活の質を向上させる アニマルセラピー（動物介在活動）

～ペットと一緒に入れる老人ホームとして高付加価値サービスを実現する～



一誠会で働くスタッフ募集

求める職種

- 介護職員（特別養護老人ホーム 看護小規模多機能型居宅介護）
- 看護職員（訪問看護）
- 訪問介護（登録ヘルパー）

未経験者から有資格者まで、
年齢層も幅広く働いています。
有資格者優遇、
各種資格取得支援制度もあり。

詳細は、ホームページをご覧頂くか
下記に、お問い合わせください！

☎042-691-2830

職員紹介～注目の人～

ここでは、一誠会の中で注目すべき職員を紹介していきます。今回は、今年介護福祉士を取得した職員を紹介します。

初音の杜
通所介護課　介護職員
関 佳世子

資格習得のために勉強したことで科学的根拠に基づき広い視野でご利用者のケアにあたれるようになりました。
これからもご利用者と向き合い信頼関係を築きながら「あなたがいて良かった」と思っていただけるような介護職員でありたいです。

第二偕楽園ホーム
介護２課　係長
植田マサ子

勤続年数や役職者となったことから介護福祉士の資格を取得しようと思いました。
実務者研修を受講した際、講師の先生に勧められた参考書を繰り返し解き合格することができました。
今後はご利用者に対してはもちろん、ユニット職員の育成にも活かしたいです。

Event イベントスケジュール（10月・11月の一誠会からのお知らせ）

◆行事の開催予定

10月29日（土）11時～16時　第5回八王子介護フェア in 加住市民センター　主催/社会福祉法人一誠会/偕楽園ホーム・初音の杜・第二偕楽園ホーム
社会福祉法人清心福祉会/ファミリーマイホーム/社会福祉法人多摩療育園/多摩特養老人ホーム　場所 加住市民センター 八王子市加住町1-338 042-691-5215

11月　芋煮会／第二偕楽園ホーム

※各事業所から、別途、詳細をご案内いたします。

◆地域交流会（万講座）の開催◆

日時	令和４年10月８日（土）	令和４年11月５日（土）
内容	わかりやすい認知症への理解10	介護予防
講師	社会福祉法人一誠会　偕楽園ホーム 理事長　鈴木康之	社会福祉法人一誠会　偕楽園ホーム 理学療法士　佐々木要
場所	偕楽園ホーム	偕楽園ホーム
時間	14時00分～15時30分	14時00分～15時30分

本会主催の行事や講座については、新型コロナウィルスの影響拡大に鑑み、開催を延期や中止させていただくことがあります。また、お申込みいただいた皆様には、延期後日程が決定次第、別途ご案内させていただきます。なお、感染症予防対策としてご来訪の皆様には検温などご協力いただくこともご了承ください。

◆地域福祉研修の開催◆

日時	令和４年11月25日（金）
内容	介護保険制度改定の行方
講師	東京都介護支援専門員実務研修講師 特別養護老人ホームやすらぎの家　施設長　林 正 氏
場所	偕楽園ホーム
時間	16時00分～17時30分

地域福祉に関心のあるすべての従事者が、地域との協働や地域へのアプローチに向けた知識やスキルを学ぶ研修です。

社会福祉法人 一誠会
http://www.kairakuenhome.or.jp/

ISO9001認証取得
REGISTERED ORGANIZATION No.4655-ISO9001
JAB MS CM002

一誠会では、次のSNSでも情報を知ることができます。
◎Facebook（フェイスブック）
◎Twitter（ツイッター）
◎Instagram（インスタグラム）
◎Amebaブログ（アメブロ）
ホームページからリンクもしていますのでご覧ください。

一誠会からのお知らせ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大もしているところでございます。一誠会の入所系の施設におきましてはご利用者の４回目のワクチン接種を終えたところでございます。感染予防にはさらに注意が必要な状況ではございますが、４回目のワクチン接種または、当日の抗原検査による陰性の結果をお示しいただくことで、面会および外部活動を続けてまいりますのでご協力お願いいたします。

特集

生活の質を向上させるアニマルセラピー（動物介在活動）
～ペットと一緒に入れる老人ホームとして高付加価値サービスを実現する～

一誠会では、平成26（2014）年度から犬（ミニチュアダックスフンド）の飼育をきっかけに、アニマルセラピーとして猫やうさぎ、カメや熱帯魚、メダカなどの生き物たちが、ご利用者の方々とともに生活しています。

アニマルセラピーは単に生き物とふれあうということだけでなく、動物の存在が「動機づけ」になり、ご利用者の方々の生活に潤いと生き甲斐が生まれます

アニマルセラピーとは

一誠会が行うアニマルセラピーは、動物とのふれあいが目的の活動です。

病院などでの特別なプログラムの中には存在しない動物介在活動（アニマル・アシステッド・アクティビティ）を指すもので、心の癒しから病気の治療にまで、幅広い効果があると言われています。

ペットと一緒に利用したいというニーズの高まり

現在、大切な家族の一員としてペットを可愛がる方も増えており、施設をご利用する際に、今まで飼っていたペットと一緒に利用したいというニーズも高まっています。

一誠会では、これまでもショートステイをはじめ、サービス付き高齢者向け住宅でも、ペットと一緒にご利用された方も少なくありません。

独創的な高付加価値経営への挑戦

高付加価値を生み出すためには、同業他社との違いを鮮明にする、いわば差別化戦略が欠かせません。

その考え方は、ユーザーのニーズを観察、共感することからスタートするものです。

今後も、介護サービスを受ける方々の求めるニーズがますます大きく変化する中、一誠会は高付加価値で独創的なサービスの開発に挑戦し続けていきたいと思っています。

"癒し"という目に見えない、数字にも表せないものですが、いつの時代でも人には必要なものです

高齢者の方などは免疫力が低下している場合も多く、犬や猫の予防接種などの健康管理や、職員によるゲージ清掃など衛生管理に努めています

アクアリウムセラピーも注目

今、気軽に高い癒し効果を得られると言われるアクアリウム（水槽）セラピーが注目されています。

水面のゆらめき、水中を優雅に泳ぐ色とりどりの魚などを見ているだけで、人はリラックスした状態になります。

それがアクアリウムセラピーの効果です。

幻想的な水中の世界を眺めることで、少しでも日々の嫌なことを忘れ、落ち着いた状態をつくる"アクアリウムセラピーは、私たちに大きなメリットをもたらしてくれるでしょう。

ISO9001定期審査ならびに拡大審査！

速報！

新たに5事業の認証を取得し、23事業すべてに拡大

去る8月1日（月）、2日（火）で、一誠会が取得する品質の国際規格ISO9001の定期審査ならびに拡大審査が実施されました。

拡大審査では、昨年度八王子市から受託した生活支援体制整備事業ならびに認知症地域支援事業と、今年度4月に開設した定期巡回・随時対応型訪問介護看護ならびに訪問介護のサテライト北野、7月に開設した居宅介護支援事業所 北野を受審しました。

これで、一誠会の行う23事業すべてでISO9001の認証を取得したことになります。

定期審査は、ISO規格に則って構築されたマネジメントシステムが、機能しているかを確認することです

すでに登録された範囲の拡大を申請した場合に、その拡大について可否の決定に必要な審査が行われます

トップリレー

ISO9001の仕組みを活かして

社会福祉法人一誠会
第二偕楽園ホーム 副施設長
後藤智子

「私たちは一誠会に寄せられる貴重なご意見ご批判などを真摯に受けとめ、品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善し、常に成長し変化し続けながら一貫した高品質のサービスを提供する一誠会ブランドを構築します。」を品質方針に掲げています。

提供する介護サービスの不具合をそのままにせず、継続的に改善を図る仕組みを法人として構えています。

不具合があればまず、手順通りにできていたのか検証し、不具合であれば手順書や様式を変えてみるなど、自分たちから改善の糸口を見つけて取り組んでいます。

その過程で今までこだわりを持ち善かれと思ってやってきたやり方であっても、さらによりよいやり方を見つけることができ、自分たちのご利用者に提供するサービスを見直すきっかけにすることができる、そんな仕組みが「ISO9001」です。

厳しい経営環境を強いられる介護保険制度の下、課題は山積みですが、「ISO9001」の仕組みを全職員が理解し、効果的に使いこなし、ご利用者に真に満足いただけるための武器として、今後も活用していきたいです。

Green Days
社会福祉法人一誠会 広報誌
『グリーン・デイズ』2022.9 Vol.115

Contents

02 特集
生活の質を向上させるアニマルセラピー(動物介在活動)
～ペットと一緒に入れる老人ホームとして高付加価値サービスを実現する～

03 速報 ISO9001定期審査ならびに拡大審査！

04 トップリレー
社会福祉法人一誠会
第二偕楽園ホーム 副施設長
後藤智子

05 from 高齢者あんしん相談センター大和田
05 Column ①・②

偕楽園ホーム
06 from 特別養護老人ホーム
07 from 居宅介護支援事業所

初音の杜
08 from デイサービス
09 from グループホーム

第二偕楽園ホーム
10 from 地域密着型特別養護老人ホーム
短期入所生活介護事業所
11 from サービス付き高齢者向け住宅

12 from 企業主導型保育所かいらくえん

13 地域公益活動／苦情の窓／ロコの部屋
14 ご寄付・ボランティアの紹介
私のボランティア活動
理学療法士の健康豆知識
15 介護の相談箱
編集後記
16 職員紹介 ～注目の人～
イベントスケジュール
一誠会からのお知らせ

発行／社会福祉法人 一誠会
〒192-0005 東京都八王子市宮下町983番地
TEL：(偕楽園ホーム) 042-691-2830
(初音の杜) 042-691-8289
(第二偕楽園ホーム) 042-691-0913
(高齢者あんしん相談センター大和田) 042-649-3280

介護予防企画『青空体操@小宮公園』を初開催！

去る7月21日(木)、小宮公園と高齢者あんしん相談センター大和田・中野・石川の生活支援コーディネーター・右田病院の理学療法士・看護師などで、高齢者の方々に向けての介護予防企画として、「青空体操@小宮公園」を始めました。

まず、高齢者あんしん相談センターの看護師らによる検温と血圧測定を行い、右田病院の理学療法士の指導の下に体操で汗を流し、さらには、小宮公園園長の蜂須賀パークレンジャーによる自然観察をしながらのウオーキング!!

当日は厳しい暑さの中ではありましたが、参加された皆さまはとても楽しそうでした。

なお、今後の開催予定は以下のとおりですので、皆さまのご参加をお待ちしています。

10月16日(日曜:第3日曜日)/10時～11時
小宮公園サービスセンター前集合/定員30名

創価大看護学部の実習生も参加し、みんなで体操♪

蜂須賀パークレンジャーによる自然観察

Column ①

3年ぶりに夏まつりを開催

来年は地域の方もお招きでき、より活気のある納涼祭が開催できますように願っております

去る8月27日(土)、3年ぶりに屋外での納涼夏まつりを開催しました。新型コロナウイルスの影響により、一般の方々をお招きすることはできませんでしたが、ご利用者もボランティアの方々とともに盆踊りや屋台の食べ物を楽しんでいただきました。

Column ②

「救命講習受講優良証」をいただきました

救命講習受講
優良証
所在地 八王子市加住町1丁目18番
名称 第二偕楽園ホーム
貴施設は救命講習に積極的な取り組みをしていることを認めます
令和4年8月1日
東京消防庁

「救命講習受講優良証」は、救命講習受講を奨励する制度で、都内約1,400の事業所に交付されています

第二偕楽園ホームでは、救命講習などを積極的に受講している事業所などに対して交付される「救命講習受講優良証」を東京消防庁から交付されました。講習受講者が行った応急手当の実施により、傷病者が救命された事例も多く報告されています。

利用者の負担軽減と、より質の高い介護を目指してICT化に取り組んでいます

睡眠センサー、タブレット端末、介護用リフト。令和の介護現場の三種の神器が活躍を始めました

ご利用者と職員の身体への負担をともに軽減する介護用リフトも導入されています

現在、介護職員の人材不足を補うことや、介護負担軽減を目的として、一誠会でもICT機器や介護ロボットを使った介護が進んでいます。

偕楽園ホームは、築40年以上の建物ですが、全館に無線LANが備えられ館内のどこからでも大容量の通信が可能となっています。

各現場にはタブレット端末も導入され、介護用のアプリによってご利用者の常時見守りや、迅速な情報共有が可能となりました。

その一つに睡眠センサーがあります。

これは、ベッドマットの下に設置したセンサーにより睡眠状態などを検知し、通知するものですが、これをもとに覚醒時に夜間の排泄介助などを行うことでご利用者の睡眠の質の低下が避けられます。

また、記録アプリによりご利用者のデータの蓄積がされれば、フィードバックにより介護の質を高めることもできます。

まだまだ活用しきれていない面もありますが、古く見える施設でも新しい時代に対応していきたいと思います。

職員の小室博英がリモートで行われた東京都高齢者福祉施設協議会のデジタルシンポジウムに登壇者として偕楽園ホームでの取り組みを紹介しました

着任のご挨拶

居宅サービス部
居宅介護支援課
ケアマネジャー
佐藤 浩一
（さとう ひろかず）

これまでの経験を生かし地域の高齢者の支援をしていきます

本年7月より偕楽園ホーム居宅介護支援事業所に配属になりました佐藤と申します。

私は本年6月まで、同一法人系列の事業所である「八王子市高齢者あんしん相談センター大和田」で認知症推進員として勤務しておりました。

認知症地域推進員は、市内21か所ある「高齢者あんしん相談センター」に1名配属されており、認知症に関する相談支援や関係機関との連携が主な業務となっています。

具体的には、認知症個別相談対応や認知症サポーター養成講座の開催、認知症本人の社会参加活動支援、地域ケア会議への参加などの活動を行ってきました。

２０２５年には高齢者の5人に1人は認知症と言われており、認知症は他人事の問題ではなくなってきています。

以前は、「認知症は他人事」「認知症は治らない」「何もできなくなる」などの考え方も多かったかと思いますが、認知症であっても多くの能力は維持され、ちょっとした支援があれば自立できたり、対応によっては症状が緩和されたり、ボランティアや就業など積極的に社会参加される方も増えて来ています。

今後は今までの認知症推進員の活動を通して得た知識や経験を、偕楽園ホーム居宅介護支援事業所のケアマネジャー業務に活かしていきたいと思います。

担当のご利用者と一緒に撮影

【偕楽園ホーム定期巡回・随時対応型訪問介護看護】利用者募集中！

1カ月あたり定額で利用できるサービスです。介護職や看護師などによる定期的な訪問と随時の訪問を組み合わせ、24時間在宅で生活できることを支援するために必要なサービスを提供します。

◎訪問範囲：包括圏域の左入、石川、大和、川口、中野まで伺います

◎対象となる方：要介護１以上

ご利用料金（１カ月単位の定額制です）

定期巡回・訪問介護費（１割負担の場合）

要介護度	介護保険費用	利用者負担
要介護１	62,952円	6,295円
要介護２	112,357円	11,236円
要介護３	186,558円	18,656円
要介護４	235,995円	23,600円
要介護５	285,411円	28,541円

※自己負担割合は、所得に応じて1～3割と異なります。

社会福祉法人 一誠会 偕楽園ホーム
〒192-0005 八王子市宮下町983番地
TEL 042-659-3366 FAX 042-691-8288 担当：安部、遠藤

行事やイベントを楽しみながら追加利用へ

デイサービスセンター初音の杜では年間を通して行事やイベントを開催しています。行事やイベントなどは、事前にプログラム表をお配りしています。楽しめる催しは、どなたにもご参加いただけるのが一番良いのですが、利用日に合わないこともあります。

行事は非日常を感じてもらえる機会でもあり、ご自宅での会話のきっかけにもなるので、利用日でない場合も、追加利用ができるようにご案内しています。

この日は日本舞踊の「美駒会」のボランティアが来園され2名の方が追加利用されました

期待をもってデイサービスにきていただけるように

流しそうめんで涼を感じて

縁日は夏の風物詩

追加利用のご案内には、ボランティアの活動やセンターで開催する季節が感じられる行事やイベントがあります。

上段の写真にもある日本舞踊を披露していただいた「美駒会」の皆さまをはじめ、夏の行事として、7月には「流しそうめん」、8月には「夏祭り（縁日）」を催し、特に「流しそうめん」では本物の竹を使用し雰囲気作りも大切にし、楽しい食事も演出しています。

また、「夏祭り（縁日）」は、昔懐かしい射的やヨーヨーすくいを楽しんでいただきました。

来月もご利用者が、楽しく初音の杜にお越しいただけるように追加利用のご案内をさせていただいていますので、事前にお配りしているプログラムをご覧になり、お気軽にお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染症の発生を受けて

一誠会では、様々な認知症ケアの取り組みを行っています。
ここでは、初音の杜のグループホーム（以下GH）が行っている取り組みをご紹介します。

新型コロナウイルス感染症の経過ならびに概要

グループホーム初音の杜では、令和4年8月1日に入居者1名が新型コロナウイルス陽性の判定を受け、施設での療養を行いました。その後2つのユニット(計18名)において、入居者5名職員5名へと感染は拡大いたしましたが、幸いにも感染症による重篤な症状へと進行せず、それぞれのユニットは保健所の指導を受けながら10日間の療養期間を終えることができました。

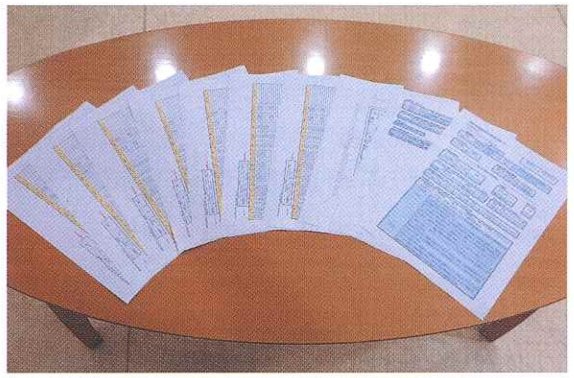
感染予防対策の大切さ

この期間で、感染予防対策の大切さを再確認しました。

陽性者の方のケアをする際、職員が媒介しないように、職員は常時防護服や手袋、フェイスシールドの着用など、それまで以上の対策を講じる必要がありました。

日頃の体調管理や手洗い、マスクの着用はもちろん、感染拡大予防には、何よりも空気を留めない、換気の重要性を実感しました。

何よりも、ご利用者の皆さまには極力自室で過ごしていただくようお願いするなど不自由な生活を求めてしまうことになり、今回のことを活かして次の感染が広がらないように備えながら、日々の感染予防に努めてまいります。



行政や保健所など指導をいただきながら対応しました

感染力を食い止めることは難しいと痛感し、今後に生かしていきます

皆様におきましても日頃から注意を払って生活をおくっていただきたく存じます

from
第二偕楽園ホーム 地域密着型特別養護老人ホーム

リハビリテーション専門職を有効的に活用する

第二偕楽園ホームでは、週に1回、外部の理学療法士を招き、生活の質の向上を目的として、ご利用者に元気でお過ごしいただけるよう機能訓練、いわゆるリハビリテーション(以下リハビリ)に取り組んでいます。

特別養護老人ホームにおけるリハビリは、座る・立つなど、生活の基本動作から歩行訓練や転倒予防の取り組みなど、ご利用者の自立支援はもちろん、危険回避も含めリハビリを行うことが重要です。

こうした大切さを理学療法士から介護職員に伝えてもらうことも業務の一つです。

例えば、普段車いすを使用しているご利用者が、トイレに行くまでの距離だけでも歩行してみるなど、介護職員のケアそのものがリハビリにつながるよう指導を受けています。

今後も、リハビリの専門職である理学療法士から介護職へ技術を伝えることから、ご利用者の生活の質の維持向上につなげていきます。

利用者の皆さんはリハビリの機会をとても楽しみにしていらっしゃいます

ご利用者の笑顔を引き出し、笑いを引き出し、訓練実施をするところが理学療法士のプロフェッショナルと言えます

短期入所生活介護事業所 プライバシーを守る個室の強み

第二偕楽園ホームのすべての居室にトイレと流し台が備え付けてあり、誰に気兼ねすることなくプライバシーが守られる環境です。

お食事はリビングで他の皆さんとご一緒に召し上がれますが、一人になりたくなった時には、いつでもご自分のプライバシー空間に戻ることができるというメリットがあります。

また、リビングからは四季折々の草木や花、また八王子の山々が見渡せる景色も楽しめるなど、ゆったりと、別荘に来た気分でショートステイをご利用いただければ幸いです。

ショートステイのユニット「鹿鳴」は、賓客をもてなす宴会を指す言葉です

from
第二偕楽園ホーム サービス付き高齢者向け住宅

皆様からの質問にお答えします サービス付き高齢者向け住宅

原則予約制ですが、サ高住職員付き添いによる通院補助も承っております(写真はイメージです)

ペットも大切な家族です

毎朝、近隣のコンビニエンスストアまでの散歩を日課とされているH様

今回は第二偕楽園ホームサービス付き高齢者向け住宅（以下、サ高住）の入居に際し、ご家族から多く寄せられる質問にお答えしていきたいと思います。

Q１．急な体調不良時の対応が心配なのですが…

サ高住は介護保険施設ではなく、一般的には比較的お元気な方向けの住居といえます。しかしご高齢者の急変は避けがたいものです。

そんな時、第二偕楽園ホームでは施設職員による通院補助を受けることも可能です（原則予約制。30分1,500円）。

Q２．ペットと一緒に入居することは可能ですか？

当法人の「ペット飼育規則」に基づき許可された小型犬・猫（体長50cm程度）一匹に限り、同じ居室内でお住まいいただくことが可能です。

Q３．外出に関する制限はありませんか？

新型コロナウイルスによるクラスター発生などの緊急時はその限りではございませんが、原則外出に関する制限は設けておりません。

ご家族との定期的な外出やご友人との旅行、ご自身の趣味や日課を楽しまれている方もいらっしゃいます。

サ高住は、地域にある賃貸アパートと同様で利用されている方々がその人ならではの生活が送れる場所となっております。

【訪問看護ステーション】利用者募集中！

看護師がご自宅に訪問し、定期的なバイタルチェックや医療的ケアの床ずれ予防、処置、在宅酸素の管理、ターミナルケアなどを行い、安心してご自宅で過していただけるように支援するサービスです。

ご利用者 → 主治医 / ケアマネジャー → 訪問看護ステーション → ご利用者との面談 → 指示書の交付（主治医） → 利用開始

問 社会福祉法人一誠会 第二偕楽園ホーム 訪問看護ステーション
〒192-0004 八王子市加住町1丁目18番地
TEL 042-691-1866 FAX 042-691-1870 担当：山口

from 第二偕楽園ホーム 企業主導型保育所かいらくえん

Withコロナでやれること、やりたいこと

みんなの応援の中で、初めてのすいか割り

夏まつりでの施設内を山車で巡行

敬老会に手形の花束をプレゼント

コロナ禍でできないこと

コロナ禍と言われ続け、保育園生活にも制限が多くなり、高齢者や地域の皆さまと交流する機会も減少しました。

そして、当園は乳児だけの保育園なので、子どもたちは産まれた時からコロナと共に成長している子どもたちです。

家族以外の大人たちは皆マスクをしていて表情が分かりにくく不安を感じたり、感情表現を上手く学べなかったり、相手の気持ちに気付きにくかったりすることも課題として挙げられています。

また、四季折々の行事や多くの子どもたちや地域社会の中での関わりが持ちにくくなって来ています。

出来ることをたのしみながら様々な体験を

その中で、小規模保育園であるからこそできることがあるはずです。

感染症対策はもちろん、子ども一人一人の生活環境や成長に合わせたきめ細かい丁寧な保育を心がけ、保護者の皆さまが安心して預けられる園として、ご家庭ではなかなか体験できない季節の行事や遊びを保育者も一緒に楽しんでいきたいと思います。

また、日常保育の様子をご覧いただくために、保護者の皆さまには動画配信、地域の皆さまには広報紙を配布するとともにSNSの活用も進めていますので是非ご覧ください。

これからの取り組み

さらに、隣接している高齢者施設の方々と大きな行事だけではなく、できる限り日常的に関わりが持てるように、そしてその先には、地域との関わりも深めていきたいと思っています。

園児募集中♥ 0歳から2歳

介護・医療従事者の変則的な勤務体系にも対応し、土曜保育（要相談）、1日4～5時間、週2～3日といった短時間の受け入れも可能。ご相談受け付けます。

保育内容	産休明け～満1歳未満	8：30～16：00	※保護者の勤務時間による
	満1歳以上	7：30～18：30	
	アレルギー・障害児保育：応相談		
	延長保育 18：30～20：30：要相談（別途料金がかかります）		

お問い合わせ 社会福祉法人 一誠会 企業主導型保育所かいらくえん
〒192-0004 八王子市加住町1丁目18番地
TEL 042-691-1868 メール：hoiku@kairakuenhome.or.jp

地域公益活動

配食サービス

食事は、生活をするうえで欠かせないものです。

一誠会では、法人独自のサービスとして地域への配食サービスを行っています。

一誠会の配食サービスは、月曜日から土曜日までお正月も行っており、費用は一食550円（療養食600円）です。

直接手渡しするので安否確認も兼ねており、地域の貢献につなげていきます。

ご相談は、偕楽園ホームまたはお住いのエリアの高齢者あんしん相談センターへご相談ください

苦情の窓

偕楽園ホーム

食器の汚れに関する苦情

偕楽園ホームのご利用者より「ポテトサラダの入っていたお皿が汚れている」との苦情をいただきました。

苦情発生の原因は、漂白剤を使用し、定期的に洗浄はしているものの、耐久年数を超えた影響で食器のメラミンが剥がれしまい、そこに汚れが蓄積しやすくなっていたことでした。

今後は次の是正策を周知徹底することにより、再発防止に努めます。

1「一ヶ月に一度（月末）、食器状態の確認を行う。」

2「メラミンが剥がれている食器は新しい物を購入する。」

今後も気持ちよく食事をしていただけるよう細心の注意を払っていきます。

ご意見をお待ちしています。

ロコと楽しい仲間たち ロコの部屋

いただいたカメさんたち元気にしてます

一誠会では、多くの動物が飼育されています。

第二偕楽園ホームで過ごしているクサガメの『たかはしさん』、ミドリガメの『橋本さん』と『みよさん』の3匹のカメは、地域の方々から頂戴したカメさんで、それぞれ頂戴した方のお名前を忘れないようにと名付けています。

3匹とも今日も元気に過ごしていますのでどうぞご安心ください。

カメは万年と言われますが、長生きしてほしいです

御礼（6月1日～7月31日）

ご寄付のご紹介

小笠原和子　後藤智子　小室博英　櫻井いづみ　佐々木信雄　髙橋 毅　橋本 隆　八王子介護保険サービス連絡協議会　三澤正武　水野敬生　宮下町会長 大和義元　山﨑 功　ユニ・チャーム株式会社　脇本博文

敬称は省略させていただきます。

ボランティアのご紹介

雨宮千代野　石﨑雄司　大下栄子　岡部トシ枝　柏木伸子　倉吉 稔　小室節子　佐藤君枝　佐藤鷹志　柴嵜行雄　高木章子　塚谷眞奈美　東海林喜久子　橋本正子　濱口昌子　林 陸太郎　福士定明　三橋明美　宮下町町会　茂木惠美子

敬称は省略させていただきます。

Volunteer 私のボランティア活動

宮下町会婦人部 様

今回ご紹介するのは、宮下町会婦人部の皆様です。

8月27日に行われた一誠会の納涼祭にて盆踊りをして頂きました。

盛大にお祭りが出来ない昨今の状況を踏まえ以前と比べ小規模の納涼祭となりましたが婦人部の皆様の素敵な盆踊りのおかげでご利用者も大変喜ばれていました。

理学療法士の健康豆知識

介護予防シリーズ

長引くコロナ渦にあって、外出を控えている方も多いと思います。

過度な引きこもりは、筋力や体力の低下＝運動機能の障害による転倒・骨折が心配です。いわゆる「ロコモティブ・シンドローム（以下、ロコモ）」と言われる状態像です。

足腰の障害に加えて、心身の活力低下が長期にわたると、要介護となる危険性も高くなります。この段階は「フレイル」と呼ばれ、近年注目されています。

介護予防は、フレイルの可能性を早く発見し、要介護への進行を防ぐことが大事です。

今回は、フレイルへの入り口となり得るロコモチェックをしてみましょう。足腰（運動器）の衰えは徐々に進行します。

左図の7つの質問で該当する項目があれば、早めに運動習慣を身につけましょう。

次回は、ロコモ予防に役立つ具体的な運動をご紹介します。

介護の相談箱　地域包括支援センター

Q ヤングケアラーとは？

A ヤングケアラーとは、障がいや病気を抱えていてケアを要する家族がおり、家事や家族の世話などを行う18歳未満の子どもを指す言葉です。

ヤングケアラーの子どもは、学業に影響することをはじめとして、交友関係が築けない、体力、健康が損なわれることや学業に時間を割くことができず、学力への影響が懸念されます。

文部科学省と厚生労働省が令和3年3月に発表した「ヤングケアラーの実態に関する調査結果」によれば、中学2年生の約17人に1人がヤングケアラーという結果があり、さらにはヤングケアラーに該当しているかわからないままケアをしている現状で、多いにもかかわらず、行政の支援がまだ十分に進んでいない課題とされています。

※広報委員会では、皆様から事業所や記事に関するご意見、ご質問をFAXかメールで募集しています。FAX：042-691-8288　メール：info@kairakuenhome.or.jp

Green Days
グリーンデイズ　Vol.115
発　行：社会福祉法人 一誠会
発行日：2022年9月15日
発行人：鈴木康之
編集人：鷹野賢一
住　所：東京都八王子市宮下町983番地

編集後記

この9月13日で、第二偕楽園ホームを開設して4年、同時に偕楽園ホーム内に立ち上げた定期巡回・随時対応型訪問介護看護も4年が経過しました。

地域密着型特別養護老人ホームをはじめ、看護小規模多機能型居宅介護など規模の小さな6事業に加え、定期巡回・随時対応型訪問介護看護は全国的にも数は少なく、法人内からも経営に不安の声があがったのも事実です。

しかし、今、施設がこうして事業が存続できているのは間違いなく、可能性を信じて協力してくれた役員や職員、地域や八王子市をはじめとする関係機関など、新規事業に関わってくれた全ての方々のおかげです。

今後も現場の統括責任者として、経営に対して「誠実である」はもちろん、「結果を出す」ことで、少しでも恩返しができればと思っています。

Twitter はじめました

フォローよろしくお願いします！

@Takao_Mizuno1

社会福祉法人一誠会 常務理事 水野敬生

【サービス付き高齢者向け住宅　第二偕楽園ホーム】

入居者募集中

サービス付き高齢者向け住宅は、高齢者が安心して暮らせるよう配慮された住環境と安否確認・生活相談といったサービスが付いたバリアフリー構造の高齢者住宅です。

月額費用：**16万7490円/月　敷金、礼金は不要です。**
（家賃6万円、共益費2万7540円、支援費2万7000円、食費5万2950円）
部屋数室：12室（全室個室 各18.63㎡）
居室設備：洗面、トイレ、収納、エアコン、ナースコール、スプリンクラー
入居要件：60歳以上の高齢者、要介護認定を受けた60歳未満の方
※介護サービスを受けられる場合には別途料金が発生します。

詳細は、ホームページをご覧いただくか、下記お問い合わせまでご連絡ください。

【お問い合わせ】
社会福祉法人一誠会 第二偕楽園ホーム
〒192-0004 八王子市加住町1丁目18番地
TEL：042-691-1866　FAX：042-691-1870
担当：高橋